

学科通信（G） 【第8号】

◇ボランティア

夏休みもあっという間に終わり、22日に始業式を迎え、本格的に2学期が始まりました。そして、23日には9月に予定されていた一斉ボランティアを前倒しして実施しましたね。G科は先日の大雨で被災した川西ダリヤ園に行かせていただきました。実際の被害状況を自分の目で確認すると、改めて胸が痛みました。

主な作業はダリア園内に流れ込んだ土砂を運ぶというものでした。一輪車いっぱい土砂を積み運ぶのも大変で、さらに天気にも恵まれたので暑さもあり、大変だったと思います。細かい石を芝生の間から拾い上げる作業もしました。やってもやっても作業が進んでいる実感がありませんでしたが、根気強くやってくれた人も多くいたと思います。このボランティアの中で、川西のために！という奉仕の気持ちもそうですが、根気強く物事に取り組む姿勢や、物事を途中で投げ出さない気持ちを身に付けるきっかけになってくれればとも思っていました。どうだったかな。

終わらないこと、終わりが見えないことを「それでもなお」やっていくことはとても大切です。むしろ、毎日「それでもなお」の繰り返しだったりします。君たちの「それでもなお」の足跡は、きっとダリヤ園の記憶として残るはず。復興を願い、行動していきましょう。 齋藤

◇坂先生より

テーマ《 残暑・向日葵 》

花材： 向日葵 九蓋草

学校畑の西側にひまわり畑があることを知っていますか？トウモロコシが片付けられて、始めて気づきました。

夏休みの自由研究で、向日葵の種の数延々と数えたことが昨日のように思い出されます。（そのあと、乾燥させてインコの餌にしました。）昔の向日葵は、背が高く見るたびに暑苦しいと思っていたのですが、近年はミニサイズもあります。喫茶店に入ったらテーブルの一輪挿しに活けてありました。一輪挿しが出来るサイズまでに縮小化されたのですね。花も需要により品種改良がされるのを実感いたしました。

皆さんは、大きな向日葵と小さな向日葵どちらが好きですか？（私は、やはり暑苦しい昔ながらの向日葵ですね・・・）

坂



◇あのヒマワリは...

緑肥という言葉を知っているでしょうか。「植物自体を肥料として利用すること」を言います。土壌中の養分バランスを整えたり、すき込んで養分を供給する役割があります。そうです、学校畑西側のヒマワリは緑肥です。もうすぐ刈り取られてしまいます。摘み取るなら今のうち！急げ！ 齋藤